

新編内子町誌 目次

口 絵

発刊によせて	内子町長河内紘一	(9)
監修を終えて	松山大学名誉教授 経済学博士 伊達功	(10)
本誌を読まれる人のために		(11)

第一編 自然環境

第一章 位置と面積	3
-----------	---

第一節 位置	3
--------	---

1 数理的位置	3
2 交通的位置	5

第二節 面積	8
--------	---

第二章 地形	10
--------	----

第一節 地形概要	10
1 四国山地とプレートテクトニクス	10

2 肱川流域の地形的特性	11
--------------	----

3 内山盆地と内子町の地形的領域	16
------------------	----

第二節 地形分類	18
----------	----

1 山地	18
------	----

2 丘陵地	19
-------	----

3 台地・低地	21
---------	----

第三節 地形と人文	23
-----------	----

1 低位地形区の都市的生活	23
---------------	----

2 高位地形区の農村的生活	25
---------------	----

第三章 地質および土壌	30
-------------	----

第一節 地質概要	30
----------	----

第二節 地質各説	31
----------	----

1 三波川帯と御荷鉾帯	31
-------------	----

(1) 三波川帯	31
----------	----

(2) 御荷鉾帯	32
----------	----

2 洪積層と沖積層	33
-----------	----

(1) 洪積層	33
---------	----

(2) 沖積層……………34

3 鈳 床……………35

4 鈳 泉……………37

第三節 地質と土地災害……………38

第四節 土壌の概要……………38

第四章 気 候……………40

第一節 愛媛の気候のあらまし……………40

1 県内各地の気候のようす……………40

2 気温と降水量の分布……………41

3 その他の気候要素……………42

第二節 内子町の気候……………43

1 気温の特色……………43

2 降水量の特色……………45

3 その他……………45

(1) 霧……………45

(2) 霜……………46

第三節 気候と生活……………46

1 地図に記された気候地名……………46

2 内山地方の天気俚言……………47

第五章 生 物……………50

第一節 植物でみる自然環境……………50

1 植物のあらまし……………50

2 植生調査……………51

3 重要群落及び貴重植物……………54

4 町指定の天然記念物としての樹木……………57

5 帰化植物……………59

第二節 動物でみる自然環境……………60

1 陸生動物……………61

(1) ほ 乳 類……………61

(2) 鳥 類……………63

(3) は虫類・両生類・その他……………65

(4) 昆 虫 類……………66

2 水生動物……………67

(1) 魚 類……………67

(2) 水生昆虫類……………70

(3) 甲殻類・その他……………71

第二編 歴 史……………100

第二章 中 世……………100

第一章 原始・古代……………75

第一節 喜多郡の歴史……………100

1 後期更新世の自然環境……………75

2 内子・大洲盆地周辺の旧石器遺跡と旧石器……………76

3 内子盆地の旧石器遺跡と旧石器……………79

第二節 内子地方の縄文文化……………81

1 自然環境の変化……………81

2 肱川流域の縄文遺跡と遺物……………82

3 石浦東・石浦西遺跡と出土遺物……………84

4 松の木遺跡と出土遺物……………88

第三節 内子地方の弥生文化……………91

1 弥生前期の文化……………91

2 弥生中期の文化……………91

3 弥生後期の文化……………93

4 内子盆地周辺の弥生遺跡と出土遺物……………95

第四節 内子地方の古墳文化……………96

内子・大洲盆地周辺の古墳分布……………96

第五節 古代の内子盆地……………98

1 比志城の戦い……………100

2 守護・地頭……………100

3 根来城の戦い……………101

4 宇都宮氏八代……………101

5 大洲城の戦い……………102

6 宇都宮氏の滅亡……………102

7 大野(菅田)直之の最期……………103

8 小早川氏の所領……………104

第二節 内子の歴史……………104

1 地名の起こり……………104

2 農業生産の基盤……………105

3 村の石盛(石高)……………105

4 村の生活……………106

5 一遍と願成寺……………107

6 宿場町内ノ子と四国遍路……………108

7 中世城館小史……………110

8 曾 根 城……………113

(1) 位置 城廻 麓(禁)……………113

(2) 城主 曾根左衛門督高昌(天文年間以降)……………114

9 黒山城……………117

(1) 位置 石畳 黒山……………117

(2) 城主 久保伊予守高美……………117

第三章 近世……………120

第一節 大洲藩の成立……………120

1 加藤氏以前……………120

2 大洲藩の成立……………121

第二節 藩治下の村々……………124

第三節 在町としての内ノ子……………128

1 市日と街村……………128

2 在町内ノ子の繁栄……………130

第四節 農村支配……………131

1 村の組織と支配体制……………131

2 検地と年貢・村高……………134

3 農民の統制……………137

4 宗門改と村の出入り……………138

5 五百木村・城廻村の村法……………141

6 幕府巡見使の廻村……………142

第五節 農村の生活……………143

1 農家の生活……………143

2 村の犯罪白書……………146

3 六日市村・知清村境論争……………146

第六節 災害・飢饉……………148

1 三大飢饉……………148

2 内子の災害……………150

3 疫病と救済……………152

第七節 農民騒動……………154

1 寛延の内ノ子騒動……………154

(1) 騒動の前提……………154

(2) 騒動の経過……………155

(3) 騒動の性格……………159

2 その他の騒動……………160

(1) 久万山騒動……………160

(2) 大瀬騒動……………161

(3) 横峰騒動……………161

(4) 村前騒動……………162

(5) 大洲紙騒動……………162

(6) 未遂……………163

第八節 交通の発達……………163

1 陸上交通……………163

2 水上交通……………167

第九節 産業の振興……………167

1 和紙……………168

第一〇節 文化の発達……………171

2 製蠟……………169

3 その他の産業……………169

1 学問・教育……………171

2 文学……………173

3 建築……………173

4 美術……………174

5 民間信仰……………174

第一節 藩政の衰退……………175

1 藩財政と民政……………175

(1) 藩財政……………175

(2) 民政……………179

2 農兵隊の創設と廃止……………182

(1) 農兵隊の創設……………182

(2) ゲベル隊……………183

(3) 西洋隊……………185

(4) 新撰隊……………185

(5) 精鋭隊……………187

(6) 啓行隊……………188

(7) 農兵隊の廃止……………188

第二節 藩政の終末……………188

1 奥福騒動……………188

第四章 近代・現代……………202

第一節 明治期における内子……………202

1 明治の世相……………202

(1) 新政府の発足……………202

(2) 文明開化の波……………205

(3) 学制頒布……………207

(4) 日清・日露戦争……………210

(5) 主な犯罪・事変……………215

2 特産物の変遷……………217

(1) 木蠟……………217

(2) 和紙……………218

(3) 養蚕と製糸……………219

3 交通の変遷……………220

(1) 陸上の交通……………220

(2) 川による交通……………224

第二節 昭和戦前期の内子

- 1 第一次世界大戦と内子の産業……………225
- 2 鉄 道……………227
- (1) 愛媛鉄道……………227
- (2) 国鉄内子線……………227
- (3) 国鉄内山線……………227

3 第二次世界大戦と太平洋戦争……………228

第三節 新時代の出発……………234

- 1 民主主義社会への歩み……………234
- 2 経済復興……………234
- 3 農地改革……………235
- 4 教育改革……………235
- 5 選挙制度改革……………238

第四節 経済成長と内子……………239

- 1 衣・食・住……………239
- (1) 衣生活の移りかわり……………239
- (2) 食生活の移りかわり……………239
- (3) 住居の移りかわり……………240
- 2 生活の合理化……………241
- (1) 生活様式の変化……………241
- (2) 余暇の利用と大衆レジャーの急成長……………242
- 3 文化活動……………242

- 4 オイルショック……………243

第五節 文化行政の推進……………244

- 1 民俗資料の収集……………244
- 2 町並保存……………245
- 3 文化施設の充実と民俗資料の保存……………247
- 4 文化財の指定(国・町)と保存……………248

第六節 町づくり……………249

- 1 町づくりの時代的変遷……………249
- 2 町づくりの展望と課題……………250

第三編 行政・財政

第一章 行政区画の変遷……………255

第一節 明治後の変遷……………255

- 1 廃藩置県……………255
- 2 戸籍法と大小区制……………256
- 3 郡 制……………258
- 4 町 制……………261
- (1) 明治初期の町村……………261
- (2) 町村制と旧町村の変転……………262
- (3) 旧町村の歴代町村長・助役・収入役……………265

第二節 旧町村の沿革……………268

第二章 内子町の誕生……………273

第一節 五か町村合併……………273

- 1 合併の理由……………273
- 2 新町設置……………273
- (1) 合併の議決……………273
- (2) 財産処分の議決と決定……………274
- (3) 内子町を設置する申請……………274
- (4) 旧町村の廃止と内子町設置の県告示……………276
- 3 新町建設計画……………276
- 4 合併に関する協議書……………280
- 5 内子町現況表……………281

第二節 合併までの経緯……………289

- 1 町村合併の推進……………289
- 2 県の合併指導と内子町……………289
- 3 合併までの旧町村の動向……………290
- 4 新しい町名……………291

第三章 町政の発展……………293

第一節 合併後の動向……………293

- 1 新町の出発……………293

- 2 立川地区分離問題の終結……………293
- 3 挫折した内山市構想……………294

第二節 町政の概要……………297

- 1 新庁舎建設……………297
- (1) 管理機関の集団化……………298
- (2) 新庁舎建設用地決定……………298
- (3) 新庁舎の概要……………299
- 2 総合振興計画……………300
- (1) 新町建設計画(昭和三二〜四二年)……………300
- (2) 第一次・内子町総合開発計画(昭和四八〜五七年)……………301
- (3) 第二次・内子町振興計画(昭和五八〜平成四年)……………303
- (4) 第三次・内子町新総合計画(平成五〜一二年)……………304
- 3 周年行事……………305
- (1) 合併一〇周年記念行事……………305
- (2) 町制二五周年記念行事……………306
- (3) 町制三〇周年記念行事……………307
- (4) 町制三五周年記念行事……………307
- 4 被 頭 彰……………308
- 第三節 名誉町民……………310

第四章 行政機構……………312

第一節 行政組織……………312

- 1 事務機構の推移……………312
- 2 歴代の町長・助役・収入役……………317

第二節 町議会……………317

- 1 町村議会制度……………317
- (1) 地方自治と議会……………318
- (2) 議会機構と活動……………318
- (3) 議員定数の推移……………319

2 歴代の正、副議長・議員……………321

第三節 行政委員会……………323

- 1 教育委員会……………323
- 2 選挙管理委員会……………324
- 3 監査委員……………324
- 4 農業委員会……………325
- 5 固定資産評価審査委員会……………328
- 6 公平委員会……………329

第五章 財政……………330

第一節 旧町村の財政……………330

- 1 町村制後の財政……………330

- (1) 内子町……………332
- (2) 五城村……………337
- (3) 大瀬村……………339
- (4) 立川村……………342
- (5) 満穂村……………344

2 自治法施行後の財政……………347

- (1) 合併までの財政状況……………348
- (2) 合併時の財政状況……………354

第二節 合併後の財政……………357

1 財政再建……………357

- (1) 地財法について……………357
- (2) 赤字と内子町……………357
- (3) 緊縮財政と職員整理……………358
- (4) 地財法の効果と意義……………359

2 財政の推移……………359

- (1) 町税の徴収制度と納税組合……………359
- (2) 一般会計……………360
- (3) 特別会計……………368
- (4) 健全財政の堅持……………372

第六章 社会福祉……………374

第一節 福祉行政……………374

- 1 生活保護と低所得者援護……………374
- 2 児童福祉……………377
- 3 身体障害者福祉……………380
- 4 老人福祉……………382
- 5 母子寡婦福祉……………387

第二節 民間活動……………389

- 1 民生(児童)委員……………389
- 2 社会福祉協議会……………390
- (1) 心配ごと相談所……………391
- (2) 家庭奉仕員(ホームヘルパー)派遣事業等……………392
- (3) 葬儀用祭壇事業……………393
- (4) 給食サービス事業……………393
- (5) 福祉基金造成事業……………393
- (6) 歴代内子町社会福祉協議会長……………394

4 内子YYSと町並ガイドの会……………396

第三節 その他……………396

- 1 地域改善事業……………396
- 2 国民年金……………398

第七章 保健衛生……………405

第一節 成人病予防と母子保健……………405

- 1 成人病予防……………405
- (1) 悪性新生物(ガン)……………406
- (2) 脳血管疾患(脳卒中)・心疾患(心臓病)……………407
- 2 母子保健……………409

第二節 伝染病予防と寄生虫予防……………412

- 1 急性伝染病と隔離病舎……………412
- 2 慢性伝染病……………413
- 3 寄生虫予防……………416

第三節 環境衛生……………417

- 1 上水道と簡易上水道……………417
- (1) 内子上水道……………417
- (2) 簡易上水道と共同給水施設……………418
- 2 下水道……………420
- 3 ごみ処理と塵芥焼却場……………421
- 4 し尿処理と清流園……………423

5 火葬場.....423

第四節 国民健康保険.....424

第五節 医療関係施設.....428

1 喜多医師会立内山病院.....428

2 診療所.....429

3 開業医等.....430

第六節 人口動態.....430

1 内子町の人口.....430

2 出生と死亡.....436

第八章 土 木.....439

第一節 道路と橋梁.....439

1 藩政時代.....439

2 明治時代.....439

3 道路の現況.....440

4 橋梁の現況.....441

第二節 将来の道路行政.....444

1 具体的な事業.....444

2 四国縦貫自動車道.....445

3 農林漁業用揮発油税財源身替
農道整備事業(農免農道).....445

第三節 治 水.....446

第九章 警察・治安.....448

第一節 消 防.....448

1 消防の歴史.....448

2 消防団員の殉職.....451

3 合併後の歴代消防団長名.....452

4 大洲地区広域消防事務組合の誕生.....452

第二節 警 察.....454

1 内子警察署の変遷.....454

2 自治体警察の誕生.....455

3 内子警察署の誕生.....455

第一〇章 徴兵・兵事.....457

戦死戦病死者名簿.....458

第一章 選 挙.....470

第一節 選挙制度の変遷.....470

1 選挙制度の準備期(明治初期〜二二年).....470

2 制限選挙の時代(明治二二〜大正一四年).....470

3 男子普通選挙の時代(大正一四〜昭和二〇年).....471

4 完全普通選挙の時代(昭和二〇年〜現在).....472

第二節 国及び地方選挙.....472

1 国の選挙.....472

(1) 衆議院議員総選挙.....472

(2) 参議院議員通常選挙.....474

2 地方選挙.....475

(1) 県議会議員選挙.....475

(2) 県知事選挙.....476

(3) 郡会議員選挙.....476

(4) 市町村議会議員選挙.....476

(5) 市町村長選挙.....477

3 政治改革関連法の成立.....478

第三節 合併後の選挙執行状況.....478

第四節 明るく正しい選挙推進協議会.....480

第二章 労働運動.....481

第三章 広報及び区長会.....483

第一節 広報と行政.....483

1 広報の歴史.....483

2 広報紙の発行.....484

第二節 区長会と行政.....487

付記 内子町内の官公署及び施設.....489

第四編 産業経済

第一章 内子の三白

第一節 和紙生産の盛衰.....493

1 古文書の記録.....493

2 藩政期の製紙.....494

3 明治期以後の和紙生産の盛衰.....501

第二節 木蠟生産の盛衰.....505

1 菜種油搾り技法と漆蠟搾り技法.....505

2 榎樹の伝播と唐榎の導入.....506

3 榎蠟搾り法.....508

(1) 芳我家と木蠟.....509

(2) 綿屋と木蠟.....509

4 蠟晒技法.....511

(1) 生蠟早晒法.....511

(2) 伊予式蠟花箱晒法.....512

(3) 早晒法と箱晒法の比較.....513

(4) 晒蠟の專業化.....516

5 流通と販路.....521

6 木蠟生産の衰退.....526

第三節 蚕糸生産の盛衰……………528

1 近世までの養蚕蚕糸の歴史……………528

2 明治期の蚕糸業……………529

(1) 初期の蚕糸業……………529

(2) 座繰蚕糸業の創業……………531

(3) 企業化した製糸工場……………533

(1) 製糸工場(小泉・浅野・明智各工場)の推移……………533

(2) 戦中・戦後の製糸業……………537

第二章 農 業……………538

第一節 明治・大正時代の農業……………539

1 明治政府の農業政策……………539

2 大正時代の農業生産……………540

第二節 昭和期の農業……………540

1 終戦に至るまで……………540

2 戦後の農業……………541

3 換金作物の普及……………543

第三節 戦後の農業機構の転換……………545

1 農地改革……………545

(1) 第一次農地改革……………545

(2) 第二次農地改革……………545

(3) 農地委員会……………546

(4) 農地改革の成果と影響……………547

2 農地法と農業委員会……………547

(1) 農地法……………548

(2) 農業委員会……………548

3 新農山漁村建設事業……………549

(1) 事業の背景……………549

(2) 新農村への取組……………550

(3) 事業の成果と課題……………550

4 農業基本法と農業構造改善事業……………551

(1) 農業基本法の制定……………551

(2) 農業構造改善事業……………551

5 国営農地開発事業……………552

6 農業災害補償制度……………553

7 機械化農業……………554

8 食糧管理法……………556

第四節 農業生産……………558

1 米麦の生産……………558

2 雑穀・いも類……………561

3 養 蚕……………562

4 畜 産……………564

(1) 和 牛……………564

(2) 乳 牛……………565

(1) 実生法……………580

(2) 挿木法……………581

(3) 明治・大正期の育苗……………581

(4) 昭和期の育苗……………581

2 造 林……………582

(1) 明治期の造林……………582

(2) 大正・昭和期の造林……………583

3 育 林……………584

(1) 補植と下刈……………584

(2) 除伐と枝打……………584

(3) 間 伐……………584

4 木 材……………585

(1) 江戸末期から明治期の木材……………585

(2) 大正から昭和前期の木材……………586

(3) 戦後の木材……………587

(4) 木材の流通……………587

第三節 木炭生産の盛衰……………588

1 木炭生産……………588

2 明治から大正期の木炭……………589

3 昭和期の木炭……………590

第四節 その他の林産物……………591

1 椎 茸……………591

(3) 養豚・養鶏・養雉……………567

5 果樹その他……………567

(1) く り……………567

(2) か き……………569

(3) な し……………571

(4) ぶ ど う……………571

(5) その他の果樹……………572

(6) そ の 他……………573

第五節 葉たばこ……………574

1 生産のはじまり……………574

2 規模拡大と共同化……………575

3 専売・生産組織の変遷……………576

(1) 専売事業の変遷……………576

(2) 生産組合の変遷……………576

第三章 林 業……………578

第一節 林業の沿革……………578

1 藩政時代の林業……………578

2 明治期から昭和期の林業……………579

3 森林面積の推移……………579

第二節 木材の生産……………580

1 育 苗……………580

(1) 実生法……………580

(2) 挿木法……………581

(3) 明治・大正期の育苗……………581

(4) 昭和期の育苗……………581

2 造 林……………582

(1) 明治期の造林……………582

(2) 大正・昭和期の造林……………583

3 育 林……………584

(1) 補植と下刈……………584

(2) 除伐と枝打……………584

(3) 間 伐……………584

4 木 材……………585

(1) 江戸末期から明治期の木材……………585

(2) 大正から昭和前期の木材……………586

(3) 戦後の木材……………587

(4) 木材の流通……………587

第三節 木炭生産の盛衰……………588

1 木炭生産……………588

2 明治から大正期の木炭……………589

3 昭和期の木炭……………590

第四節 その他の林産物……………591

1 椎 茸……………591

(1)	椎茸の栽培と用途	591
(2)	明治・大正期の椎茸	592
(3)	昭和期の椎茸	592
2	竹材	594
(1)	竹の生産	594
(2)	竹林の目的と用途	594
(3)	明治・大正期の竹材産業	595
(4)	昭和戦前期の竹材産業	595
(5)	戦後期の竹材産業	596
3	コウゾ・ミツマタ	597
(1)	生産の概要	597
(2)	コウゾの育苗と収穫	598
(3)	ミツマタの育苗と収穫	598
(4)	明治期	599
(5)	大正期	600
(6)	昭和期	601
(7)	流通	602
4	ハゼ生産の概要	602
(1)	ハゼの栽培	603
(2)	明治・大正期	604
(3)	昭和期	605
5	キリ	606

(4)	運搬	616
3	久原鋳業株式会社時代(大正二〜九年)	616
(1)	買取操業	616
(2)	採鋳の方法及び設備	617
(3)	選鋳と索道架設	618
(4)	製錬	620
(5)	鋳山関連施設	620
(6)	公害	622
4	日本鋳業株式会社時代	622
付記	鋳山と地域社会	623
第二節	工業	623
1	株式会社大岡製作所	624
2	株式会社藤岡製作所	625
3	入江工研株式会社四国事業所内子工場	626
4	菱藤電機株式会社内子工場	626
5	株式会社オンワード電機産業	627
第三節	その他の工業	628
1	製材工業の盛衰	628
2	チップ生産の盛衰	629
3	醸造業の盛衰と現況	630
(1)	酒六酒造株式会社	631
(2)	森文醸造株式会社	632

第五章	交通・運輸	633
第一節	中世までの交通運輸	633
第二節	藩政時代の交通運輸	634
第三節	明治期の交通運輸	636
1	路上交通運輸	636
2	河川交通運輸	637
3	交通運輸への新しい指向(大正時代)	639
第四節	交通運輸の充実期(昭和初期)	641
1	自動車の出現	641
2	バス路線競合	644
3	貨物自動車の出現	646
第五節	交通運輸の近代化	648
1	国道五六号線	648
2	国鉄内子線廃止問題	649
3	国鉄内山線建設と民営化	650

第六章	通信	653
第一節	中世期以前の通信	653
第二節	近世の通信	654
1	幕府の継飛脚	654
2	大名の七里飛脚	654

3 三度飛脚(定飛脚).....654

4 町(村)飛脚.....654

第三節 近代の通信事業.....655

1 飛脚制度の活用.....655

2 高畑九郎衛時代の通信(明治五〜二十一年).....657

3 高橋吉衛時代の通信(明治二一〜四〇年).....661

4 森満雄(旧姓西村)時代の通信(明治四〇〜昭和一六年).....663

5 郵便事業の近代化.....665

6 簡易生命保険事業と公共事業融資.....667

第七章 商業・金融.....669

第一節 商業の発生と発展.....669

第二節 江戸期の商業.....670

1 市を立てた町並.....670

(1) 廿日市.....670

(2) 福岡町(護国).....671

(3) 八日市.....671

(4) 六日市.....672

2 藩営問屋制の展開.....672

(1) 天災・人災の多発.....672

(2) 和紙の藩営問屋制.....673

(5) 頼母子(志)講・無尽講.....693

(6) 商業活動の推移.....694

(7) 地場産業その他.....697

3 木蠟の藩営専売問屋制.....674

(3) 商人勢力の拡大.....674

3 商業活動の実態.....674

(1) 本門百軒の町並.....674

(2) 移出入商業.....676

(3) 藩 札.....677

第三節 近代的商業と金融.....678

1 明治・大正期の商業と金融.....678

2 貨幣制度の改革と銀行の創業.....679

3 殖産興業.....679

4 銀行と商業.....680

(1) 銀行の乱立.....680

(2) 内子銀行.....681

(3) 商家と商業.....683

5 昭和期の商業と金融.....685

(1) 統発する不況と銀行整理統合.....685

(2) 商業活動の多様化.....686

6 第二次世界大戦後の商業と金融.....688

(1) 戦後の特色.....688

(2) 銀行支店.....689

(3) 商工会.....689

(4) 農業協同組合.....691

第五編 教育

第一章 学校教育.....705

第一節 藩政時代の教育.....705

1 武士の教育と藩校.....705

2 庶民の教育と寺子屋・私塾.....707

第二節 近代教育の誕生.....708

1 学制の公布と学区制.....708

2 内子における小学校設立.....709

3 中学校設立の動きと「嚶鳴舎」.....714

4 教育令と学校教育.....715

第三節 教育制度の整備と確立.....718

1 小学校令と初等教育.....718

2 苦心の小学校建築.....720

3 明治後期の初等教育.....722

4 内子尚武会の創立と発展.....723

第四節 大正期の内子教育.....727

1 初等教育の発展.....727

2 青年の教育と実業補習学校.....730

3 内子実科女学校の開校.....731

第五節 昭和初期(戦前)の教育.....734

1 経済不況と学校教育.....734

2 皇国教育の展開.....736

3 皇国教育と思想統制.....738

4 国民学校と太平洋戦争.....740

第六節 戦時下の中等・勤労青年の教育.....743

1 内子高等実科女学校の昇格.....743

2 青年学校の創立.....746

3 愛媛県立女子拓殖訓練所.....747

第七節 戦後の民主教育.....749

1 敗戦後の国民学校.....749

2 六・三制の実施.....752

3 新制中学校の発足.....752

4 新制度と教育課程.....754

5 町村合併と学校統合問題.....755

第八節 社会の進展と学校教育.....757

1 教育爆発と進学者の増加.....757

2 過疎化と学校の統廃合.....758

3	小・中学校施設の整備	760
4	学校給食の実施	762
5	生涯教育と学校	764
第九節 後期中等教育		
1	内子高等学校	765
2	定時制課程(大瀬分校)	767
第一〇節 就学前教育		
1	幼児学級の開設	769
2	幼稚園の設置	770
第一一節 各学校沿革史		
1	小学校	771
2	中学校	785
3	内子高等学校	789
4	幼稚園	791
第一二節 教職員組合・教育会		
1	戦前の教育会喜多部会	792
2	喜多郡教員組合(喜多教員組合)	792
3	愛媛県教育研究協議会喜多支部内子分会	794
4	愛媛県教育会喜多支部内子分会	794
第二章 社会教育		
第一節 戦前の社会教育		
1	明治時代と通俗教育	796
2	青年会の発足と青年教育の開始	797
(1)	封建制下の若者集団	797
(2)	青年会のめばえ	797
(3)	大正期の青年会	799
(4)	処女会の発足	800
(5)	昭和戦前期の青年団	801
3	婦人団体の組織化	803
(1)	体制的社会教育と婦人団体	803
(2)	愛国婦人会(愛婦)系	803
(3)	大日本連合婦人会(連婦)系	804
(4)	大日本国防婦人会(国婦)系	805
(5)	三婦人団体の統合から国民義勇隊へ	805
(6)	白から黒へ	806
4	戦前の社会教育施設	806
内子町記念学堂図書館		
第二節 戦後の社会教育		
1	敗戦と社会教育再編への動き	807
2	公民館の発足と変遷	808

(1)	公民館の発足	808
(2)	旧町村公民館時代	809
(3)	新町発足と全町一館時代	810
(4)	地区公民館再配置時代	810
(5)	三館体制時代を迎える	810
3 社会教育法の制定と社会教育の進展		
(1)	教育改革と社会教育法	811
(2)	社会教育の進展	811
(3)	社会教育関係団体の再編成	811
(4)	町村合併と社会教育関係団体の再編	812
4 社会教育施設		
(1)	公民館	813
(2)	図書館	815
(3)	運動公園	815
5 社会教育関係団体		
(1)	青年団	816
(2)	婦人会	818
(3)	P T A	820
(4)	内子町体育協会	821
(5)	内子町文化協会	822
第三章 教育行政		
第一節 戦前の地方教育行政		
1	学制の時代	823
2	教育令の時代	823
3	学務委員	824
4	「町村制」の発足	824
第二節 教育委員会		
1	公選制の教育委員会	825
2	任命制の教育委員会	826
第六編 宗 教		
第一章 神 道		
第一節 神社の変遷		
1	古代の神祇信仰	831
2	中世の神道	832
3	近世の神道	832
4	近代社会の神道	834
5	終戦後の神社	834

第二章 仏教

第一節 寺院の変遷

- 1 昔の寺院..... 852
- 2 明治以後の寺院..... 853
- 3 転廃寺..... 853

第二節 現在の寺院

第三節 堂宇

- 1 部落と堂宇..... 866
- 2 町指定有形文化財（建造物）堂宇..... 871

第三章 教派神道・その他

第一節 キリスト教

- 1 隠れキリシタン..... 876
- 2 日本アライアンス教団内子キリスト教会..... 877
- 3 ものみの塔聖書冊子協会エホバの証人内子会衆..... 878

第二節 金光教

第三節 天理教

- 1 天理教内子分教会..... 880
- 2 天理教大瀬分教会..... 881

第四節 その他

- 1 本門仏立宗第九支庁四国布教区内子長寿会..... 882
- 2 創価学会内子支部..... 883

第七編 民俗

第一章 村落社会の構造

第一節 社会生活

- 1 村落制度..... 887
- 2 村の構成..... 887
- 3 寄合..... 888
- 4 組入り..... 888
- 5 村制裁..... 889
- 6 共有財産..... 889
- 7 共同作業..... 889
- 8 若者組..... 890

第二節 労働慣行

第三節 内子の保乃木

第二章 家族制度

第一節 家長権

894

第二章 仏教

第一節 寺院の変遷

- 1 昔の寺院..... 852
- 2 明治以後の寺院..... 853
- 3 転廃寺..... 853

第二節 現在の寺院

第三節 堂宇

- 1 部落と堂宇..... 866
- 2 町指定有形文化財（建造物）堂宇..... 871

第三章 教派神道・その他

第一節 キリスト教

- 1 隠れキリシタン..... 876
- 2 日本アライアンス教団内子キリスト教会..... 877
- 3 ものみの塔聖書冊子協会エホバの証人内子会衆..... 878

第二節 金光教

第三節 天理教

- 1 天理教内子分教会..... 880
- 2 天理教大瀬分教会..... 881

第四節 その他

- 1 本門仏立宗第九支庁四国布教区内子長寿会..... 882
- 2 創価学会内子支部..... 883

第七編 民俗

第一章 村落社会の構造

第一節 社会生活

- 1 村落制度..... 887
- 2 村の構成..... 887
- 3 寄合..... 888
- 4 組入り..... 888
- 5 村制裁..... 889
- 6 共有財産..... 889
- 7 共同作業..... 889
- 8 若者組..... 890

第二節 労働慣行

第三節 内子の保乃木

第二章 家族制度

第一節 家長権

894

第二節 主婦権

第三節 相続慣行

- 1 家長権相続..... 895
- 2 主婦権相続..... 895
- 3 養子慣行..... 895
- 4 隠居慣行..... 896

第四節 本家・分家

第三章 衣食住

第一節 衣生活

第二節 食生活

第三節 住生活

第四章 農耕儀礼

第五章 通過儀礼・民間信仰・講

第一節 産育習俗

第二節 婚姻習俗

第三節 厄年・年祝

第四節 葬送・儀礼習俗

- 1 死喪..... 913
- 2 葬送..... 914

3 村落と葬家

4 葬制・墓制

5 忌み明け・年祭

第五節 民間信仰

第六章 年中行事

第七章 子どもの生活

第一節 子どもの遊び

第二節 わらべうた

第八章 郷土芸能

第九章 口頭伝承

第一節 民話と伝説

第二節 民謡

第三節 俚諺・俗信

1 子兆

2 禁忌

3 呪術

第四節 方言

961

目次
第八編 諸芸・文化財・観光

第一章 諸 芸 971

第一節 美術・工芸 971

1 書 道 971

2 画 道 973

3 彫 刻 974

第二節 文 芸 975

1 和 歌 975

2 俳 句 977

3 短詩(川柳) 979

4 文 学 979

5 内子人の文芸刊行 980

第二章 文化財と観光 981

第一節 文 化 財 981

第二節 観 光 985

1 戦前の観光 985

2 戦後の観光 985

第九編 人 物

人 物 989

年 表 1035

年号索引 1036

索 引 1066

編集にたざさわった人々 1067

編集を終えて 1069

一般項目索引

【あ】

アカホヤ火山灰	85
アラシコ	891
アラブ石油輸出機構	243
アルミサッシ	240
愛国婦人会	803
明るく正しい選挙推進協議会	480
旭鶴	526
朝風・夕風	40
新しい町名	291
穴神洞遺跡	81
雨乞い	906
粟島神社(常ノ森)遺跡	87

【い】

インスタント食品	240
インフレーション	234
筏流し	953
池田小学校	779
池田中学校	788
石浦西遺跡	84
石浦東	76
石浦南	76
石畳小学校	784
伊勢舎	672
伊勢信仰	833
一般会計	360
一般会計の財政状況	361
一本松の大師堂	872
五百木村城廻村永代記録	126・654
伊予・喜多農業共済組合	554
伊予紙見本帖	601
伊予自動車株式会社	639
伊予簾	595
伊予の切炭	579・589
伊予国知行高郷村数帳	538
伊予国農商家業栄鑑	683
伊予の手漉和紙	599
岩木I式土器	93

【う】

ウルム氷期	75
上野III式土器	89
植付林地	582
魚市場	687
牛市場	688
内子運動公園	815
内子教頭会	795
内子銀行	681
内子校長会	795
内子高等学校	765・789
内子高等実科女学校	743
内子公民館	813
内子ゴルフ場	21・26
内子笹まつり	986
内子座	247
内子小学校	772
内子尚武会	723
内子実科女学校	731
内子児童館	378
内子短詩門	979
内子中学校	785
内子町果樹研究同志会	571
内子町記念学堂	733
内子町記念学堂図書館	806
内子町現況表	281
内子町商工会	690・691
内子町振興計画	249
内子町新総合計画	249
内子町森林組合	609
内子町総合開発計画	249
内子町体育協会	821
内子町図書館	815
内子町に関係のある路線	644
内子町の官公署及び施設	489
内子町の境界	17・18
内子町の集落別人口増減状況	28
内子町の植生	51
内子町の森林率	28
内子町の対蹠点	4
内子町のひろがり	17
内子町PTA連合会	820
内子町婦人会連絡協議会	813・818

内子町文化協会	822
内子町民憲章	249・306
内子町幼児学級開設基準	769
内子町立内子幼稚園設置条例	771
内子町立図書館	815
内子町連合青年団	812・816
内子町連合婦人会	819
内子東公民館	814
内子VYS	396
内子町並ガイドの会	396
内子幼稚園	791
内ノ子市	669・675
内ノ子郵便御用取扱所	657
内山森林組合	610
内山自動車修理工場	647
内山線	6・7
内山地区労働組合協議会	234
内山盆地	16・30
美しい都市づくり賞	308
漆蠟搾り技法	506
潤いのあるまちづくり賞	308
宇和評	98
運輸協定	645

【え】

エコロジータウン	50
ええじゃないか	182
愛媛軍政部	750
愛媛県教育会喜多支部	
内子分会	794
愛媛県教育研究協議会	
喜多支部内子分会	794
愛媛県立女子拓殖訓練所	747
愛媛相互銀行	686
愛媛鉄道	227・640
圓福寺	865
遠距離通学	759

【お】

嚶鳴舎	714
オーストラリア兵捕虜	233
オイルショック	243
オオツノジカ	76
オサンバイサマ	906
おしょぶ	215
凹線文土器	93
嚶鳴舎	172

大岡製作所労働組合	234
大型尖頭器	79
大型農業化	28
大洲街道	165・220
大洲紙騒動	177・673
大洲喜多地区農地造成事業	21・26・27
大洲県	196
大洲城の戦い	102
大洲隨筆	494・495
大洲騒動	202
大洲たばこ耕作組合	574
大洲新谷旧記集草書	
(大洲旧記)	124・125・126・177
大洲藩蔵屋敷	498
大洲半紙	502
大洲藩領史料要録	127
大洲秘録	495
大洲領庄屋由来書	128
大洲園芸同志会	610
大洲鉱山	613
大洲鉱山見取図	620
大洲公民館	814
大洲小学校	776
大洲診療所	429
大洲騒動	161
大洲中学校	787
大洲村郷土誌	730・731
大洲村施業土工森林組合	608
大洲リンゴ生産組合	572
大村家住宅	173
岡崎紙	495
奥福騒動	188・199
小田往還	223
小田街道	165
小田川	65・66・67・69・70・71
主な文化財一覧	982

【か】

カンテラ	217
かまど	240
化育学校(化育小学校)	716・717
改良半紙技法	501
貝類	71
街道	633
替地	122
角錐形石器	76

隔離病舎	412
隠れキリシタン	174・876
田積	178・180・200
龍松堂	873
楮買付資金	495
家庭奉仕員(ホームヘルパー)	392
河畔林	51
上芳我家	517
上和田	76
紙方仲買連中	155・168
紙座連中	155・168
紙の種類	497
紙の取扱い単位	497
紙役所	168・197・199・200
夏緑広葉樹二次林	54
川中尋常小学校	782
川登小学校	777
川綿掟	167
川舟の分布	638
河内小学校	783
河辺冠水草原	51
河辺林	51
完全給食	762
神南山	611
勸業政策	539
寛延の内ノ子騒動	132・154・168・175・673
寛政の大火	176
監査委員	324
環境問題	250
環状経済圏構想	7
簡易水道事業特別会計	370
簡易生命保険積立金運用規則	668
観光果樹園	986
観光農園	573
観光ブドウ園	571
外帯	30
学制	235
学制頒布	207
学務委員	824
合併後の財政	357
合併後の選挙執行状況	478
合併時の財政状況	354
合併一〇周年記念行事	305
合併に関する協議書	280
合併の議決	273
合併の理由	273
合併までの旧町村の動向	290

合併までの経緯	289
合併までの財政状況	348
学校給食	762
学校給食法	762
学校教育法	235
学校週五日制	765
学校制度	208
学校統合懇談会	758
学校統合問題	755
含銅硫化鉄鉱産高	620
含銅硫化鉄鉱床	612
岩角地低木	54
岩崖地	51
岩上・岩隙草本植物群落	51
願成寺	107・858

【き】

キリの用途	607
帰化植物	59
帰化植物の特長	59
掬水寺	865
季節の移り変わり	44
喜多医師会立内山病院	428
喜多貨物自動車株式会社	646
喜多組池田河内合名会社	522
喜多郡	98
喜多郡教員組合	792
橘家神道	833
九・四連絡海底トンネル	8
丘陵地	19・20・21
旧町村の沿革	268
旧町村の財政	330
旧町村の歴代町村長・助役・収入役	265
旧町村別戸数	29
給食サービス	393
給人法度	120
窮民夜光珠	603
共同育苗圃	576
共同選挙場	568
享保の飢饉	148
抛出年金(国民年金)	400
教育委員会	825
教育委員会制度	235
教育改革	754
教育会喜多部会	792
教育基本法	235・754
教育研究所活動	826
教育施設	760

橋梁の現況	441
霧	43・45
生蠟早晒総論	511
金融大恐慌	225
勤評闘争	792
勤労働員	803
議員定数の推移	319
議会機構と活動	318
逆傾斜運動	14・16
逆傾斜量	15
行政委員会	323
行政組織	312
魚類	67
【 く 】	
楔形石器	76
区長会と行政	487
国及び地方選挙	472
国指定重要文化財	248
久万山騒動	160
熊ノ滝鉱山	71・613
蔵米給与	122
黒山城	111・117
軍役夫	198
軍鑑簿	195
軍事郵便制度	662
郡会	259
郡参事会	260
郡制	258
郡内四筋村々之事	634
【 け 】	
ゲベル隊	183
けしかける	507
啓行隊	188
渓谷林	51
携帯用電灯	217
警察	454
警察・治安	448
健全財政の堅持	372
検地	134
現在の寺院	858
現存植生図	52
【 こ 】	
コロリ	196
工場制手工業	623

公害	622
公共下水道事業特別会計	371
公正取引委員会	234
公平委員会	329
公民館	808
広報及び区長会	483
広報と行政	483
甲殻類	71
甲申事変	210
光明寺	864
更新世	75
後期旧石器時	76
後水期	81
洪積層	33
皇国教育	736・738
耕地集積	28
耕地整理法	540
耕地土壌	38
耕地土壌図	39
高昌寺	861
高速自動車道	8
高地性遺跡	91
高度成長	241
高齢化社会	252
鉱床	35
興業意見	680
古紀淡川	76
国営総合農地開発事業	571
国定教科書	755
国鉄内子線	227
国鉄内山線	227
国鉄内山線存置推進協議会	650
国道改修拡張工事	7
国道五六号線	649
国防婦人会	805
国民学校	741
国民健康保険特別会計	368
黒色片岩地帯	32
黒曜石	80
戸籍法と大小区制	256
小包郵便法	662
固定資産評価審査委員会	328
小早川氏の所領	104
昆虫	65
昆虫類	66
金光教内子教会	879
婚姻習俗	911
江子小学校	778
強訴	159・161
強盗亀	215

郷中井寺社	495
郷筒	182・197
五か町村合併	273
護国山雑記	142
五城小学校	773
五城中学校	786
【 き 】	
サヌカイト	80
サントリー地域文化賞	309
西光寺大師堂	871
索道	618
索道路線図	619
櫻丘小学校	709
讃岐三白と内子三白	493
捌き桶	514
古豊子川	76
晒蠟	169
三共自動車株式会社	641
三等郵便局長採用規則	660
三度飛脚	654
三波川結晶片岩類	31
三波川帯	30・31
三波川帯変成岩類	31
山地岩上・岩隙草本植物	51
山地渓谷林	51
山地帯中部から上部	51
山地二次林	54
産物方	169
財政再建	357
財政力指数	365
財閥	234
座繰り	530
挫折した内山市構想	294
【 し 】	
四国新幹線	7
四国新幹線計画	8
四国循環高速ルート	8
四国八十八ヶ所	109・861・920
私設電話	665
止善書院明倫堂	705
自然性河辺低木	51
七里飛脚	654
仕付扶持	181
湿性草原	51
四民省要	634
四民平等	205

霜	46
社会教育	811
社会教育法	811
社格	834
社寺林	51
主婦権相続	895
守護・地頭	100
朱塗土器	89
宗門改め	138
宿駅	653
宿場町内ノ子と四国遍路	108
集約酪農指導所	566
処女会	800
正覚寺	864
生涯学習体制	765
生涯教育	764
庄屋	131
省営バス	644
食糧管理法	541・556・557
将来の道路行政	444
消防	448
商業近代化	695
商工会法	689
商工連盟	690
掌蠟社	169
植生	50
植生自然度	51
奨学資金貸与制度	826
照葉樹林	50
続日本紀	98
漿果	65
心配ごと相談所	391
森林組合	608
森林原野火入規則	583
森林法	581
新貨条例	679
新四国八十八ヶ所	919・921・922
新制中学校	752
新撰隊	185
新町建設計画	276
新町建設計画書	249
新庁舎建設	297
新町設置	273
新町の出発	293
新農村建設	549
新農村振興計画地域	570
寺院変遷一覽	855
慈雲山観音寺	872
自給自作型の農業	543

自作農創設特別措置法	235・546
地すべり等崩壊危険地指定	38
地すべり防止区域	37・38
自治法施行後の財政	347
自動車運輸上の注意事項	642
児童公園	380
事務機構の推移	312
砂利上げ	514
十郎五郎の首塚	945
巡見使	129
重要群落	54・55
重要伝統的建造物群保存地区	981・985
上晒	494
女子勤労挺身隊	745
女子青年団	801
乗用車貸切事業	643
常楽寺	862
常緑広葉樹林	51
常緑針葉樹	51
常緑針葉樹二次林	54
縄文文化	81
人口最大年次と現在の減少率	29
壬午事変	210
神社本庁	834
【 す 】	
水生昆虫	71
水生昆虫類	70
水道事業会計	371
須恵器	97
鈴木商店	685
墨塗り教科書	750
【 せ 】	
セルフサービス方式	240
生産施設	588
生産調整(減反政策)	548・556
西洋隊	185
性質別決算状況	365
青年会	797
青年学校	746
青年学校令	802
青年訓練所令	801
青年団	242・800
清良記	143
精鋭隊	187
製糸	219

製蠟業の衰退	527
石鏃	87
石柱状石器	86
石油輸出国機構	243
積塵邦語	169・177・510
切峰面図	11・12
石核	79
瀬戸内経済圏	8
施法寺	860
先行谷	13
専称寺	860
専売制反対一揆	163
戦死戦病死者名簿	458
戦時下教育体制	750
選挙	470
選挙管理委員会	324
選挙制度改革	238
選挙制度の変遷	470
禅昌寺	859
【 そ 】	
ソ連抑留者	233
創価学会内子支部	883
葬儀用祭壇事業	393
葬送	914
層状含銅硫化鉄鉱床	32
総合振興計画	300
曾根城	112・113
染紙の生産	499
村法	141
【 た 】	
タコロバチ	900
ダイニングキッチン	240
太平洋新国土軸	7・8
太平洋新国土軸構想	7
対蹠点	4
耐久消費財	241
滝ノ花大師堂	875
凧合戦	199
田合一号墳	97
立木、横木模式圧搾機	505
立川小学校	780
立川診療所	430
立川地区分離問題の終結	293
立川中学校	788
立川幼稚園	791
多頭飼育	564

谷底低地	24
谷間の森	986
種籠ころがし	909
頼母子(志)講	693
単元学習	755
大日本青年団	802
大日本婦人会	806
台地	21
台場	179
第一次・内子町総合開発計画	
	301
第一次農地改革	235・545
第一次米国教育使節団報告書	
	752
第一回全国木蠟業者大会	517
第五回日本勲業博覧会	589
第三紀末以来の波状運動	11
第三次・内子町新総合計画	304
第一七回全国植樹祭	583
第二国土軸	7・8
第二次・内子町振興計画	303
第二次電話拡張計画実施	664
第二次農地改革	235・545
第四次中東戦争	243
楢川押形文土器	82
太政官札	679
打製石器	76

【ち】

チャート	79
治安維持法	234
地域青年団	811
地域婦人会	804・812
力石	891
知行地	122
筑後式立木	505
地形分類図	21
地券	204
治水	446
知清村境論記録	146
地租改正	678
秩父帯	30
地方債	366
地名の起こり	104
中央構造線	10・11・12・30・31
中国人労務者	233
中世城館小史	110
沖積層	34

町議会	317
町制三五周年記念行事	307
町制三〇周年記念行事	307
町制二五周年記念行事	306
町政の概要	297
町税と住民負担の状況	364
町税の徴収制度と納税組合	359
町村会	262
町村合併促進法	249
町村合併の推進	289
町村議会制度	317
町村行政	263
町村制	261
町村制後の財政	330
町名変更	671
町有財産	367
長州大工	173・974
勅使費応役	179
逃散	160・161
鳥類	63
徴兵・兵事	457
徴兵令	214
調庸納期	528

【つ】

ツルイ掛け	901・902
つし	904
通俗教育	796
通俗図書館	806
月平均気温の推移	43
月別平均降水量の推移	45
継飛脚	654
鼓形石器	86

【て】

低山地帯	51
定時制課程(大瀬分校)	767
定時法	206
定性採集	70
鉄道建設審議会	651
適地適産の農業	551
手漉和紙	218
鉄砲目当場	197
手挽き	530
天気俚言	47
天理教内子分教会	880
天理教大瀬分教会	881
伝馬	165・198

転廃寺	857
【と】	
トースター	239
トレーニングウェア	239
杜氏	631
東学党の乱	210
東門社	637
通り切手	673
特別会計	368
徳林寺	862
土地分類基本調査	18
豊田往還	223
取引制度の変遷	521
銅繰り	530
堂宇一覧	868
道路と橋梁	439
道路の現況	440
銅鉾文化圏	93
独占禁止法	234
土墳墓	96
土鍾	96
土木	439
土壇原式土器	85

【な】

ナイフ形石器	76
ナウマン象	76
内帯	30
中津川洞遺跡	81
中野台地	25
中山川	66・67・68・69・70・71
中山栗	567
長田往還	222
長田川	66
長田小学校	774
梨棚(フォーク)状水系	17
菜種油搾り技法	505

【に】

新谷郷	99
新谷田合	82
西瀬戸環状高速ルート	8
二次草原	51・54
二次林	51
日露戦争	211

日照地名	47
日清戦争	210
日本アライアンス団	
内子キリスト教会	877
二三〇高地	25・76
日本の農村景観百選	985

【ぬ】

抜紙	162
----	-----

【ね】

根来城の戦い	101
如法寺遺跡	87
年賀郵便物取扱規程	663
年貢	134
年降水量分布	42
年代雑日記	507
年平均気温分布	41
燃糸文土器	82

【の】

農家益	511
農家業状筆録	143
農機具	555
農業委員会	325
農業委員会法	548
農業共済制度	553
農業構造改善事業	551
農業災害補償法	553
農業振興の基本方針	550
農業生産の基盤	105
農業保険法	553
農業補習学校	799
農産物の自由化	252
農村振興協議会	550
農地委員会	235
農地調整法	235
農兵隊	182
吞水聖観世音菩薩堂	220
乗合馬車	639

【は】

ハゼ栽培の衰退	606
パソコン	242
パラフィン	217
は虫類	65

配給統制法	541
配石遺構	89
廃藩置県	202・255
廃仏毀釈	834
箱晒	515
箱膳	901
始而紙御役所御仕法旧記	126・496
榎採り歌	603
榎蠟搾り技法	508
畑地雑草	54
波戸下砂掘	181
播磨灘汽水湖	81
販路の拡張	521
藩営問屋制専売制	673
藩営問屋制機構	502
藩札	123・677
藩政時代の年貢	539
売買交換厳禁	496
梅花社	171
培養菌糸	591
晩水期	81

【ひ】

P T A	812
びんつけ	217
飛駅使	653
飛脚問屋	656
比志城の戦い	100
比志川森林	578
肱川の氾濫要因	14
平岡遺跡	95
平形銅剣	93
広江式種菌	593
広島式立木	505
品種	568
微隆起線文土器	81
備後・燧灘汽水湖	81

【ふ】

プレートテクトニクス	10
ふるさと手づくり郷土賞	309
風土	40
深鉢形土器	85
福祉年金	399
福成寺	864
覆瓦構造上の梨棚式水系	13
婦人会	242

麓川	66・67・68・69・70・71
浮葉・沈水草本植物	51
夫食元立千人講	181
夫食料	178・180
武成隊	195
文明開化	205

【へ】

ヘラジカ	76
へんろ道	222
米価審議会	558

【ほ】

ボーリング結果	35
ほ乳類	61
萌芽林	51
槽木	63
仏峠	166
程内川	67・71
程内小学校	777
程内中学校	788
本・四連絡架橋計画	8
本晒	494
本四連絡架橋	7
本門	635
本門仏立宗第九支庁	
四国布教区内子長寿会	882
防空監視所	230
盆地型気候地域	40
盆地霧	43・45

【ま】

磨消縄文土器	88
磨製石斧	96
松の木遺跡	88
松山街道	165
松山俘虜収容所	214
真綿製造法	532
満蒙開拓少年義勇軍	747

【み】

ミツマタ	598
ミンマ(巳午)	916・930
みどり苑	252・383
御荷鉾線	12・17・30

御荷鉢帯	32
水鳥	64
満穂学校問題特別委員会	756
満穂北尋常小学校	784
満穂診療所	430
満穂中学校	789
満穂図書館	815
蜜	170
身分制度	205
宮相撲	928
都I・II遺跡	91
都式土器	91
明應寺	863
明光寺	866
民間信仰	917

【む】

むつみ会	386
六日市永久録	128・673
昔の寺院	852
昔の農民のくらし	904
虫送り	908
無尽講	693
無文土器	88
村方騒動	159
村方立退	162
村前川	66・71
村前小学校	779
村前騒動	162
村前西尋常小学校	775
村島式土器	93
村の石盛(石高)	105
村の生活	106
村々への申渡書	898

【め】

名替町民	310
明治以後の寺院	853
免	123

【も】

ものみの塔聖母冊子協会	
エホバの証人内子会衆	878
木炭	170
木蠟の用途	526
元鏡口大師堂	874

【や】

やぶ入り	924
屋号	675
山神II式土器	88
山本有三記念郷土文化賞	309

【ゆ】

有機減農薬米栽培指標	560
有畜産農業(有機農業)	565
有畜農家創設特別措置法	565
郵便為替制度	658
郵便規則	657
融通銀	197
優占種	68・70
遊行上人祭	927
柚木	82
柚木遺跡	88

【よ】

八日市環国道路	
「日本の道一〇〇選」	308
幼児学級	769
幼稚園	770
養蚕	219
養蚕農家	562
養蚕	567
余暇の利用	242
横峰騒動	161
予州大洲好人録	149・177・705
世直し一揆	193
寄合	888

【ら】

ランプ	217
落葉果樹園雑草	54
酪農振興基金法	566

【り】

律查残偏	98
里道改廃	648
龍王城址遺跡	95
龍王荘	382
龍ぐん	64・67
龍現寺	863
両生類	65

緑色片岩地帯(塩基性片岩)	32
林業報国際	587

【れ】

レジャー産業	242
冷鉱泉	37
歴代の正、副隊長・議員	321
歴代の町長・助役・収入役	317
連合軍総司令部	749
連合国軍総司令部	234

【ろ】

蠟	169
老人クラブ	385
老人保健特別会計	370
労働運動	481
労働関係調整法	234
労働基準法	234
労働組合法	234
蠟取りき慣例	521
蠟管	516
蠟花箱晒法	513
蠟蓋	515
蠟餅	513
六・三制	752
録所	162
路傍雑草	54
論田小学校	782

【わ】

わらべうた	933
和紙	168
和田小学校	775
和名類聚鈔	98

人名索引

【あ】

明智寅三郎	534
浅野幸三	534・1001
安達玄香	172・636・708・726・992
安達東三郎	729・1006
有吉直雄	1020

【い】

伊賀浅之助	1032
生口日出男(万象)	972・1016
石村重夫	609
一週	107・852・859
稲田重義	1019
井口又八	143
岩田清麿	172

【う】

上岡岩雄	1031
宇都宮孝平	1012
宇都宮直七	998

【え】

姪子省二	979・1006
------	----------

【お】

大江健三郎	979・1026
大江昭太郎(瑞玉子)	977・1025
大岡吉邑	624・1019
大高小きん	854・972・976・994
大谷又平(巨溪真妙)	172・708・714・715・991
大西常治	1000
大野(菅田)直之	103
大町桂月	212
大村石蔵	531・997
大村金作	185・200
大森寅之進	1010
大宅 亨	721・992

大山澄太	191
大淀三千風	977
岡本賢康	1030
岡本茂明	1027
奥村五百子	212
尾崎政乃	1009
小田留義	1030

【か】

飾章治郎	597・1021
桂 芳男	1017
加藤貞泰	121
加藤泰秋	179・196
加藤泰興	168・578・857・858

加藤泰清	176
加藤泰幹	194
金岡重吉	1023
鎌居大蔵	1008
川田雄琴	705
姜 沆	167

【き】

菊地秀治郎	1004
菊地弥十郎	1015
城戸 好	1024

【く】

久保伊予守高実	117
久保重親	1028
久保 健(静菫)	976・1014
久保茂十郎	1011
栗田祖夫	1033

【こ】

小泉瀧蔵	533・1003
河内完治	1018
河内友吉	1027
河内彌衛	1024
虎月芳留	866
小早川隆景	120

【さ】

佐伯敬次郎	218・600・998
佐伯秀雄	976・1013
佐田都太司	1031
佐藤秀文	174
佐野信次郎	973・1005

【し】

重岡薫五郎	860・996
重岡伯治郎	720・723・1000
篠崎健爾	1023
篠崎三島	171・708・971・989

篠崎小竹	171
篠崎長兵衛	989
島津源治郎	974・1008
白石芳留	1032

【す】

水心子正秀	843
-------	-----

【そ】

曾根荒吉	1022
曾根静斉	976・990
曾根高昌(左衛門督高昌)	114・669・853・861・1017

曾根高直	991
曾根辰五郎	1029
曾根彦之寿	1026

【た】

高岡善三郎	993
高田忠治(忠次郎)	708・711
高橋吉隆	1014
高橋吉衛(維清)	661・711・994
高橋龍太郎	999
高畑九郎衛	657
高畑誠一	685・860・1005
武知正一	1028

【ち】

長曾我部元親	859
--------	-----

【と】

藤堂高虎 120
徳岡文四郎 641・1003
富永佐枝治 1022

【な】

中井三蔵 748
中井モトエ 748・1020
中野八十八 1005
中村繁太郎 1022
中村盛雄 860・1016
長野照次郎 974・999

【に】

西岡盛徳(嵐舟) 973・1015
西村満雄 663

【は】

芳我数衛 997
芳我賢造 1013
芳我正之助 973・1010
芳我石雄 1002
芳我 保 1011
芳我弥衛英 993
芳我弥三衛 509・512・519・
995
芳我弥三右衛門 169・512・
515・516・990
盤桂禪師 222・857・858

【ひ】

広瀬常次郎 1004

【ふ】

福五郎 188・190
福二郎 188
福太郎 188
藤井政一 1025

【ま】

マッカーサー 234
正木喜右衛門 149・859・989
正木ヨシ 859

町田久太郎 996
松田 勝 1021

【み】

宮崎高義 1009
宮田愛明 1001
宮田計三 1007
明禮輝三郎 1033

【も】

森岡光信 1029

【や】

安川右仲 171・177・705・
706・990
山本久太郎(不二山人) 1018
山本大参事 202

【よ】

与謝野晶子 212
吉岡平衛 218・501・995
米田吉盛 1034

【わ】

脇坂安治 120
脇坂安元 121